



平成 16 年 5 月 25 日

各位

会 社 名 ア ル ゼ 株 式 会 社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 岡 田 和 生
役 職 ・ 氏 名
(登 録 銘 柄 コ ー ド 番 号 6 4 2 5)
問 合 せ 先 取 締 役 堀 義 人
電 話 番 号 0 3 - 5 5 3 0 - 3 0 5 5

平成 16 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 16 年 2 月 13 日に公表した平成 16 年 3 月期業績予想を下記の通り修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1.平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 予 想 純 利 益
今 回 発 表 予 想 (A)	101,077 百万円	8,399 百万円	156 百万円	1 円 96 銭
前 回 発 表 予 想 (B)	123,300 百万円	25,700 百万円	9,900 百万円	123 円 82 銭
増 減 額 (A - B)	22,223 百万円	17,301 百万円	9,744 百万円	121 円 86 銭
増 減 率 (%)	18.0 %	67.3 %	98.4 %	98.4%
平成 15 年 3 月期	137,972 百万円	40,900 百万円	17,562 百万円	216 円 67 銭

2.平成 16 年 3 月期の単体業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 予 想 純 利 益
今 回 発 表 予 想 (A)	79,491 百万円	9,738 百万円	1,723 百万円	21 円 56 銭
前 回 発 表 予 想 (B)	100,100 百万円	27,600 百万円	12,800 百万円	160 円 09 銭
増 減 額 (A - B)	20,609 百万円	17,862 百万円	11,077 百万円	138 円 53 銭
増 減 率 (%)	20.6 %	64.7 %	86.5 %	86.5%
平成 15 年 3 月期	118,615 百万円	40,622 百万円	20,488 百万円	253 円 22 銭

3. 修正の理由

当社は、前期に引き続き、組織的開発力を強化するために、組織体制と組織システムを構築し、開発、製造、営業等の収益の核となる部門を中心に、人材能力の適正な配置と人材育成を実施してまいりました。それにもかかわらず、開発企画の人材の適正な配置判断の誤りを起こした結果、「ゴールドX」のソフト上の不具合が生じ、その代替機として「ゴールドXR」の販売をいたしました。しかし、不具合に対する過度なペナルティー制御が、製品本来の遊技特性とその魅力を半減させてしまい、そのため、下期以降も販売不振をもたらした事、また、返品に起因する影響を大きく受け、平成16年3月期通期の業績予想を大幅に下回る見込みとなり、今回の業績予想の修正を行うこととなりました。

4. 今後の見通し

平成16年3月期は「ゴールドX」問題の対応に追われ、業績面においても、その影響を大きく受けた期でありました。しかしながら、第4四半期に投入した「シンドバッド」の販売が好調であるなど、現在の当社業績は顕著な上昇基調にあり、上半期において販売を予定している画期的な全面液晶パチンコ機の「エア・ビジョン」の開発に成功し、すでに販売準備も完了しております。また、その後続くパチンコ機の製品開発を積極的に取り組み、次期の販売の、主軸をパチスロ機から、あえてパチンコ機へと切り替えてまいります。その大きな理由は、次期における風俗営業法の改正が、7月1日より実施され、パチスロ機の規制が若干厳しくなること、また、パチンコ機では規制が緩和されるという見通しであるためです。このことから、市場顧客は、今後のパチスロ機の導入に対して、7月1日以前に申請された出玉特性の魅力ある機械を狙わざるを得ません。そのために、パチスロ機での競争は、現在の7月1日以前の申請による認可機種を、数多く持つことが最も有利になると想定されるため、当社は、パチスロ機の開発力を最大限投入して、業界随一の申請による認可機種を獲得してまいります。このようにして、パチスロ機の競争についても優位にたつ所存です。

一方、パチンコ機においては、7月1日以降に、申請認可される機械が、出玉特性上有利になると予測されます。そのために、現時点においても、若干の買い控えの傾向がでており、7月1日以降のパチンコ機に期待を寄せているという市場環境です。このなかで、当社は、画期的な全面液晶パチンコ機を発売することにより、大幅な業績回復と高収益を実現してまいります。

さらに、業績回復を実現するため、人心を一新した、新しい人材を配した経営組織を構築いたしました。これらの状況や、今後投入予定の強力な新商品群により、業績拡大を実現してまいります。

尚、平成16年3月期における期末配当につきましては配当金1株あたり30円を維持する方向で、6月末に開催される予定の定時株主総会の議案として提出する予定であります。

以上